

## 福島第一原子力発電所現地確認報告書

### 1 確認日

令和3年2月17日（水）

### 2 確認箇所

- ・焼却工作建屋北西側（地盤陥没箇所）
- ・サブドレン集水設備No.4 中継タンク

### 3 確認項目

- （1）地震発生後の状況確認
- （2）サブドレン集水設備No.4 中継タンクの状況

### 4 確認結果の概要

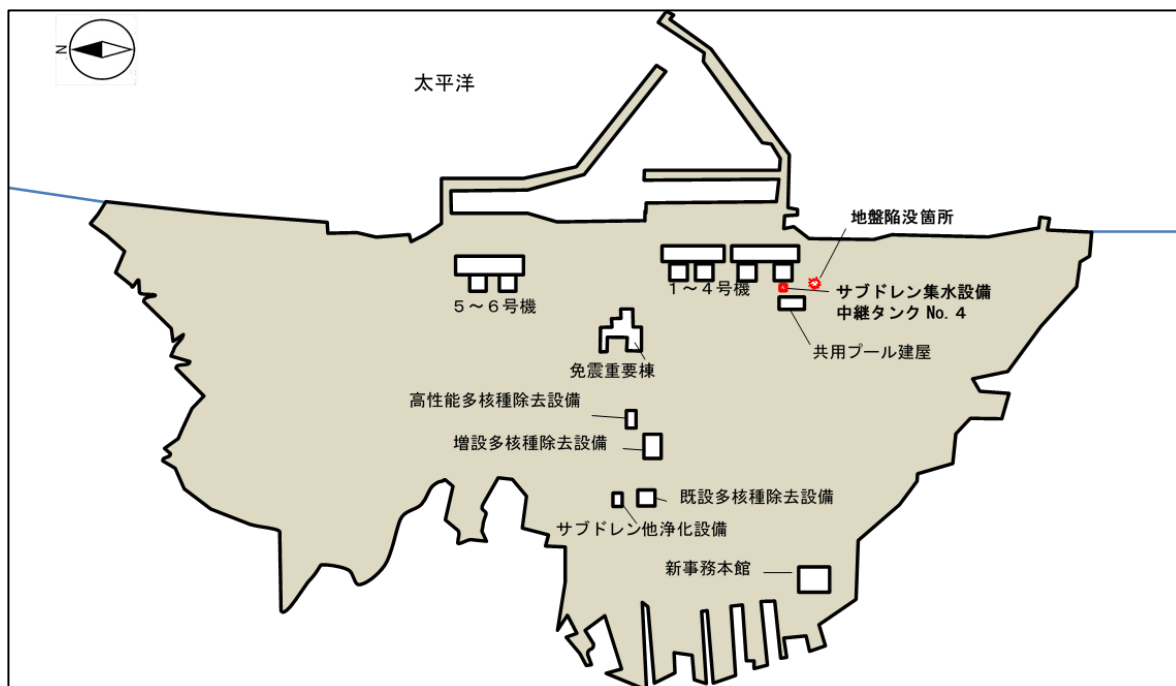
#### （1）地震発生後の状況確認について

2月13日に発生した福島県沖を震源とする地震の影響により、焼却工作建屋北西側（図1）の建屋滞留水移送配管が敷設されている箇所付近で地盤の陥没があったことから現況を確認した。

- ・陥没箇所は、焼却工作建屋北西側の建屋外壁と構内道路との間の窪地であり、付近には線量表示器が配備されており、建屋滞留水の移送配管及びろ過水の配管が敷設されていた。（写真1）
- ・線量表示器は傾いていたが空間線量率を表示しており機能に異常は見られなかった。（写真1）
- ・建屋滞留水の移送配管は新しい保温材が巻かれていた。確認した範囲では移送配管からの水漏れや漏えいした形跡は見られなかった。

（写真2）

- ・ろ過水配管の支持用単管パイプが固定材から外れていた箇所があったが、確認した範囲ではろ過水配管からの水漏れや漏えいした形跡は見られなかった。（写真3）



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



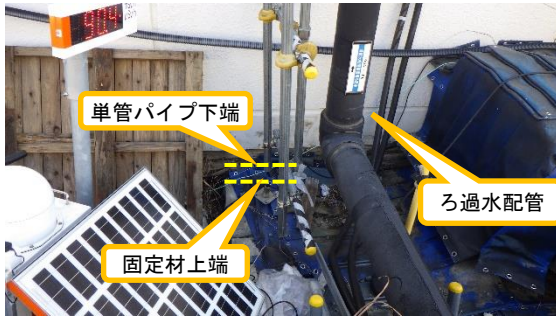
(写真1)  
地盤陥没箇所の状況  
(南側から撮影)

○ 地盤陥没箇所

※線量表示器の表示は90.4  $\mu$  Sv/h



(写真2)  
建屋滞留水移送配管の状況  
(南西側から撮影)



(写真3)  
ろ過水配管支持用単管パイプの状況  
(西側から撮影)

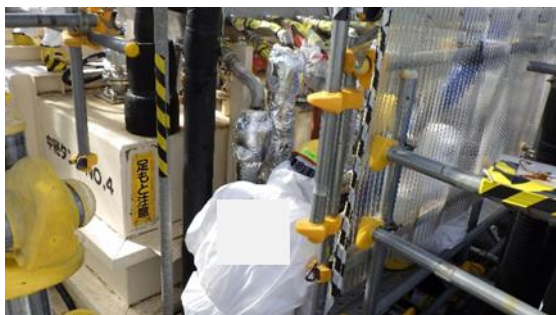
(2) サブドレン集水設備No.4 中継タンクの状況について

令和2年12月8日にタンク内に油分の混入が確認されたサブドレン集水設備No.4 中継タンク (図1) については、前回 (1月20日) タンク内の残水移送やタンク内の清掃が完了し同タンクが復旧したことを確認している。仮設タンクに移送されたNo.4 中継タンク内の残水は油分を除去した後同タンク内に戻す計画になっていたことからその後の状況を確認した。

- ・現地確認時には仮設タンク周辺での作業は行われていなかったが、仮設タンクの数 は6基から4基に減少していた。(写真4)
- ・No.4 中継タンク内では、タンク内に油混入が確認された以降運用を停止していたNo.210、No.211 サブドレンピットからの移送配管のつなぎこみ作業が行われていた。(写真5)



(写真4)  
残水受入用仮設タンクの状況  
(西側から撮影)



(写真5)  
No.4 中継タンクでの作業状況  
(北東側から撮影)

5 プラント関連パラメータ等確認

本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。